

平成28年度【市民協働型まちづくり事業（市民提案部門、はじめの一步部門）】決定事項

①市民提案部門（6月10日審査）

事業名【年数】・団体名・行政担当課	交付決定額（申請額）	補助の条件・協議会からの意見等
御殿場口の外来植物及び侵入植物の駆除活動と固有種確認調査事業【2年目】 団 体 名：特定非営利活動法人 富士山の森を守るホシガラスの会 行 政 担 当 課：環境課	300,000 円 (300,000 円)	【意見】冊子の表題を簡易なものにすると、分かりやすく子どもでも手に取り易くようになる。写真のない植物については、イラストを加えるなど工夫し、より完璧なものを増刷して欲しい。
貴重な植物の群生地や絶滅危惧植物を守ろう【3年目】 団 体 名：富士山みどりの会 行 政 担 当 課：環境課	300,000 円 (300,000 円)	【意見】今後の活動に期待する。
防災都市御殿場づくり体験の日【新】 団 体 名：防災都市御殿場づくり体験の日実行委員会 行 政 担 当 課：危機管理課	300,000 円 (300,000 円)	【補助の条件】協働相手である行政担当課をはじめとする関連部署と事業内容の詳細並びに収支予算を再考すること。
食育とキッズクッキング【2年目】 団 体 名：キラキラキッズクッキング 行 政 担 当 課：子ども家庭センター	74,000 円 (74,000 円)	
我が家流子育てを作ろう！～家族のコミュニケーション力向上事業～【2年目】 団 体 名：Motherese（マザリーズ） 行 政 担 当 課：子ども家庭センター	300,000 円 (300,000 円)	【意見】御殿場市の子育てをもっとアピールできるようにフェイスブックやホームページを活用して積極的に広報活動をして欲しい。
「魅力ある東山路」づくりから始まる観光ハブ都市御殿場市【3年目】 団 体 名：東山路観光協議会 行 政 担 当 課：商工観光課	300,000 円 (300,000 円)	
2016秋の収穫祭！御殿場を食べてくそう！秋のグルメライド！【新】 団 体 名：NPO富士山ごてんばサイクリングプロジェクト 行 政 担 当 課：商工観光課	300,000 円 (300,000 円)	【意見】安全面を十分考慮して開催して欲しい。
富士山みくりやよってかつ祭【新】 団 体 名：富士山みくりやよってかつ祭 行 政 担 当 課：商工観光課	300,000 円 (300,000 円)	【意見】交流人口の増加を意図するなど、より市側のメリット（＝公益性）にも力を入れてほしい。

②はじめの一步部門（6月2日審査）

事業名・団体名・行政担当課	交付決定額（申請額）	補助の条件・協議会からの意見等
御殿場ラン&ウォークパトロール事業 団 体 名：御殿場ラン&ウォークパトロール隊 行 政 担 当 課：くらしの安全課	50,000 円 (50,000 円)	【意見】保険に加入してほしい。

【申請額合計】：2, 224, 000円

【決定額合計】：2, 224, 000円

平成28年度 市民協働型まちづくり事業補助金事業公開提案会・選考会

日 時：平成28年6月10日（金）9：30～15：15

場 所：市民会館 ・第7会議室・第1、2会議室

参加委員：委員16名（渡邊恵子・横山貴子・小宮山洋子・勝又浩吉・小松豊・
勝間田和子・小宮山なほみ・山崎喜三・平野昭弘・湯山有朋・勝又
欣也・中川鈴代・佐藤正博・南茂秀子・根上英志・勝又文弘）

合計16名

事務局：課長・統括・鈴木・寺島（市民協働課）

1 開会（課長）9：30

2 会長あいさつ（渡邊会長）

3 市民協働型まちづくり事業提案説明 9：30～11：49

事業計画書に基づき、市民提案部門応募8団体より事業説明が行われた。
説明後の主な質疑応答は以下のとおり。

①事業名：御殿場口の外来植物及び侵入植物の駆除活動と固有種確認調査事業

団体名：特定非営利活動法人 富士山の森を守るホシガラスの会

行政担当課(主)：環境課

（説明時間：8分20秒）

委員：重要で貴重な事業なので、是非今後も続けて欲しい。

団体：市民の方にはどんな広報の仕方があるのか、協働相手の環境課と相談していく。

委員：外来種と固有種の区別が難しい。現在の植生にどのような影響を与えるか知りたい。今後の調査に期待している。

②事業名：貴重な植物の群生地や絶滅危惧植物を守ろう

団体名：富士山みどりの会

行政担当課(主)：環境課

（説明時間：9分23秒）

委員：ネットワークづくり、裾野里山保存の会と広域的に活動して欲しい。

団体：裾野市の機関に伺い、コンタクトをとろうとしている。富士吉田の団体とは一緒にやっている。ある場所では良いことが別の場所では駄目だということがあるので、富士山を多角的に見て活動していきたい。

委員：人材育成・世代交代についてはどうか。土地改良は具体的にどのような風に？

団体：土地改良について、まだ検証できていないのでこれからやっていきたい。人材育成には手も足も出ていない、時々自分の甥っ子を参加させているというところまでしか今はできていない。

③事業名：防災都市御殿場づくり体験の日

団体名：防災都市御殿場づくり体験の日実行委員会

行政担当課(主)：危機管理課

(説明時間：9分15秒)

委員：3月までは何も活動しないのか。

団体：実行委員会を続ける。プレイベントを考えている。

委員：9月・12月の他の避難訓練と一緒にやったらどうか。

団体：協力できるところはするが、バッティングしないように考えた。

委員：とりあえず一緒にやってみては。

団体：他の訓練はプログラムが確立していて入る余地がない。それらの訓練でやりきれない部分を行いたい。

委員：一般的な避難訓練の不足部分を補う内容なのか。

団体：その通り。新規事業として新しい部分も盛り込みたい。

委員：協力しつつ考えて欲しい。

委員：広域行政組合との協力は。

団体：これから取り込みたい。

委員：防災の幅が広い。特に力を入れたい部分はどこなのか。

団体：“楽しく”をポイントに特に若い世代が、やみくもに怖がるのではなく、いかに楽しく受けてもらえるか。

委員：保育・中学・年齢に合わせた内容で幅広くやってもらいたい、焦点を絞ってやって欲しい。画期的な内容だと思う。

委員：市内在住のみの中学生を対象としているのか。学校教育課とは。

団体：危機管理課では中学生を対象にすでに行っている、それらの要素を取り組みたい。限定ではなく、参加型をとりたい。市のネットワークを生かし、学生については教育委員会との連携を図りたい。

④事業名：食育とキッズクッキング

団体名：キラキラキッズクッキング

行政担当課(主)：子ども家庭センター

(説明時間：9分7秒)

委員：1回あたり何人募集しているのか。リピーターと新規のバランスをどのように取っているか。

団体：1回あたりの人数は20人。募集の仕方について改善策が見つからない。例えば、期日を前倒しして、全体で抽選を行うなどがある。リピーターの子たちは技術が身についている。

委員：調達食材は他から考えているのか。

団体：その通り。提携のお店で買えない添加物の入っていない食材は、過去の反省から補助金を使って別のお店で探してくる。会費（200円）と家庭センターからの補助金でまかなっている。

委員：前回見学に行った時に、細かく子どもたちに教えている印象を受けた。手つきの良い子に家で手伝いしているか聞いたら、家ではやっていないと言った。子どもたちは参加することで技術を取得している。もう少し回数を増やして欲しい。

委員：素晴らしい事業。日数を増やして欲しい。講師の人材育成を考えて、事業の拡大をするという構想はあるか。

団体：働いている女性が多く、平日の午前の時間が難しい。準備の打ち合わせが多くて大変なので、継続的に携える人がいない。家庭センターで若い人を募集していただければありがたい。

委員：ノウハウを定型化し、シェアできるといい。

⑤事業名：我が家流子育てをつくろう！～家族のコミュニケーション力向上事業～

団体：Motherese（マザリーズ）（説明時間：9分27秒）

委員：若いお母さん世代に特化した大変素晴らしい事業だと思う。講座は平日の昼間の開催が多いが、参加者が特定されるのでは。どうやって日程を決めているのか。

団体：基本は平日だが、講演会や父親学級は土日開催する。たくさんの人に来てもらえる方法を考えたい。

委員：キラキラキッズクッキング同様、リピーターメインになっていないか。たくさんの人が参加できるよう、新規開拓してほしい。また、募集と共に事業評価をもっとPRして、市民に浸透させてほしい。

⑥事業名：「魅力ある東山路」づくりから始まる観光ハブ都市御殿場市

団体名：東山路観光協議会

行政担当課(主)：商工観光課

（説明時間：8分38秒）

委員：補助金に関わる対象事業はどれか。マップは市が作成するのか。

団体：30万円は看板3台とシールに充てる。残りの事業は協賛金で。マップについて、6,000部は市が作成する。

委員：去年は事後評価が高かった。内容も素晴らしい。市長の言う観光ハブ都市を目指すために、先駆けになる事業。歩く時に障害はないか。秩父宮公園以外に駐車場はないのか。

団体：出た意見は全て区長らも入る協議会で話し合い、全員で判断し反映する。実際に駐車場もあるが、地元住民のこともあり載せるかは躊躇している。住民とお客さん両立のバランスが崩れてはいけない。今月の協議会でも話し合ってみる。

委員：事業を前に向かって進め、文化振興を更に発展させてほしい。

団体：トリプルウィンを目指す。

⑦事業名：2016秋の収穫祭！御殿場を食べつくそう！秋のグルメライド！

団体名：NPO富士山ごてんばサイクリングプロジェクト

行政担当課(主)：商工観光課

(説明時間：7分11秒)

委員：最近市内でもライダーをよく見かける。ルートや店を確保するにあたり、どのようなコースを考えているか。

団体：安全面を第一に考えている。サイクルリーダーが試走をくり返している。店も、なるべくくまなく回れるように選定している。

委員：イベントのイメージは市民マラソンの給水ポイントのように、お店に寄ってもらうような感じなのか。

団体：トイレの休憩ポイントやグルメポイントを設け、女性を含め誰もが走りやすいコースを考えている。

委員：子ども用と大人用でコースを分けるのか。

団体：特に分けない。時速20キロ程度で変速器を使って、子どもや女性が誰でも走りやすいコースにしたい。

委員：面白いと思う。多大に人を見受けられるので、発展的に行って欲しい。

委員：4月と5月にイベントを行った時の集客人数は20～30人だったそうだが、10月はどうやって100人集客するのか。100名にした根拠はあるのか。

団体：一人のサイクルリーダーは10名まで連れて走ることができる。サイクルリーダーが10人いるので、自分たちの最高限度である100人とした。足柄等では、同規模のイベントが開催されている。補助金の部分は固定。人数が集まらない場合は自分たちの負担金を増やす。

委員：普段、危ないという印象がある。ライダーの方は泊まったり、お土産を

買ったりしないので、観光という観点で経済効果につながるとは考えにくい。

団体：情報発信の面が特にサイクリストに出来ていない。参加者がSNS等を利用し御殿場の魅力を拡散し、次回寄ってもらえるように波及効果を目指している。

⑧事業名：富士山みくりやよってかつ祭

団体名：富士山みくりやよってかつ祭

行政担当課(主)：商工観光課

(説明時間：7分11秒)

委員：アコチルや青年の家のオープンハウスなど、高根以外の場所のイベントにも積極的に参加して欲しい。

団体：アピールできる場所を探しているので、教えて欲しい。

委員：大規模なイベントのようだが、出店は食べ物がほとんどか。

団体：飲食ブース以外もある。

委員：今後出店者は増えるか。

団体：今回は締め切った。今後は是非地元の企業が出展できるように広げたい。

委員：好きな人が好きなことをやっている若者の気持ちが伝わる。中郷館の選定が良かった。気合を入れて行ってほしい。

団体：地元なので一軒一軒を回った。

委員：大勢に来てもらえるようなイベントを。

団体：GOGOエフエム等を使って宣伝している。

委員：駅前や足柄SAで見たことがある。音楽がかかるとみんなが踊れる。今何団体がいるのか。

団体：市内の9団体が協力している。そのうち4団体が実行委員。

委員：引き続きGOGOエフエムやテレビなどのPRツールを生かしてほしい。映像を使用したPRを考えたり、自転車のイベントに参加し、応援ソングとして踊ったりしてみてもは。よってかつ祭の語源とは、御殿場弁なのか。

団体：御殿場弁の「よってかつしゃあ」と祭を組み合わせた。

4 閉会（課長）

選考会（ファシリテーター：会長） 13：27～

(1) 市民提案部門

審査用紙集計結果を公表し、点数・書類とプレゼンにより審査が行われた。
発表順より団体ごとに審査。それぞれの冒頭で事務局より審査用紙に記された委員のコメントが読み上げられた。

審査用紙集計結果

◆総合評価		満点=60点 8割=48点 7割=42点 6割=36点 3割=18点											
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑪	⑬	⑭	合計	順位
1. 御殿場口の外来及び侵入植物の駆除活動と固有種確認調査事業													
4.4	4.1	3.9	4.1	3.9	3.7	3.9	3.5	4.1	4.0	4.1	3.9	47.7	2
2. 貴重な植物の群生地や絶滅危惧植物を守ろう													
4.0	3.7	3.8	4.1	3.8	3.6	3.9	3.5	3.8	3.9	3.9	3.4	45.3	6
3. 防災都市御殿場づくり体験の日													
3.5	3.8	3.9	4.1	3.6	3.8	3.9	3.9	3.5	3.9	3.4	3.5	44.8	7
4. 食育とキッズクッキング													
4.1	3.9	3.7	4.1	4.0	3.9	4.1	4.0	3.8	4.0	4.1	3.7	47.4	4
5. 我が家流子育てをつくろう！～家族のコミュニケーション向上事業～													
3.9	4.1	4.0	4.3	4.3	4.3	4.1	4.2	4.0	4.1	4.1	4.2	49.7	1
6. 「魅力ある東山路」づくりから始まる観光ハブ都市御殿場市													
4.4	3.9	3.5	3.9	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	4.1	3.9	3.7	47.5	3
7. 2016秋の収穫祭！御殿場を食べてくそう！秋のグルメライド！													
3.5	3.4	4.1	3.4	3.4	3.7	3.7	3.4	3.4	3.6	3.6	3.7	43.0	8
8. 富士山みくりやよってかつ祭													
3.9	3.6	3.9	3.7	3.6	3.9	3.8	3.7	3.8	3.9	3.8	4.1	45.7	5

※「御殿場口の外来植物及び侵入植物の駆除活動と固有種確認調査事業」「貴重な植物の群生地や絶滅危惧植物を守ろう」は行政委員が1名加入しているため、審査に加わらなかった。

①御殿場口の外来植物及び侵入植物の駆除活動と固有種確認調査事業

【審査用紙コメント】

- ・事業の継続性が必要と思います。
- ・すばらしい事業、今後も継続的に実施を望みます。
- ・学生等ボランティアの輪を広げてみてはどうですか。
- ・冊子の表題を可能であれば平易で手に取り易いものに変えては。
- ・将来にわたり大変必要な事業。
- ・苦情には特に知識がないと大変。
- ・固有種のハンドブックがあればいいな。
- ・協働することより活用すべき。環境課主催講座参加など。
- ・外来植物と固有種の区別が判りづらい。
- ・静岡県（くらし環境部）の推進計画との連携の強化。※生物多様性地域戦略

委員：ハンドブックの表題が固い。中身は良いので、せっかく増刷するならもっと分かりやすい表題に変更したらどうか。

委員：直接団体に聞いてみたが、専門家など携わった人たちの気持ちを汲んでいるので、どうしても表題が固くなってしまうとの事。子どもたちにも分かりやすい表紙にして欲しい。

委員：静岡県くらし環境部から話があり、生物多様性地域戦略を推し進めているとの事。（その資料としても）非常に貴重で重要な冊子となるので、是非増刷をお願いしたい。

委員：冊子にない写真を見つけて欲しい。

会長：イラストでもいいと思う。

委員：ネットで見つけられると思う。

委員：ネットで見つけた写真だと著作権の問題がある。

委員：出典を入れておけば問題がないのでは。

委員：著作権のある写真を加えると金額が高くなるのでは。議論に出た内容を踏まえ、より完璧なものをめざしてほしいということで、満額決定でよろしいか。

一同：了承。

👉 御殿場口の外来植物及び侵入植物の駆除活動と固有種確認調査事業

補助金額：300,000円

【意見】冊子の表題を簡易なものにすると、分かりやすく子どもでも手に取り易くようになる。写真のない植物については、イラストを加えるなど工夫し、より完璧なものを増刷して欲しい。

② 貴重な植物の群生地や絶滅危惧植物を守ろう

【審査用紙コメント】

- ・ 今後も行政との連携をお願いいたします。
- ・ 富士山の植栽は難しい事業だと思います。
- ・ 他の団体と市と連携して続けていって欲しい。
- ・ 自然との関係も大変ですが、続けて欲しいです。
- ・ 環境課の役割を考慮し活用すべし
- ・ 発展性について、他の団体の協力関係が期待できる。
- ・ 他市町（裾野市）との連携と情報発信との強化

議論はなし。

委員：3年目なので、今後の活動に期待する。

👉 貴重な植物の群生地や絶滅危惧植物を守ろう

補助金額：300,000円

【意見】今後の活動に期待する。

③ 防災都市御殿場づくり体験の日

【審査用紙コメント】

- ・ 防災思想の普及に頑張って下さい。
- ・ 新規性、先導性が感じられない。
- ・ 民間団体との協働による防災事業に期待しています。
- ・ 当日の授業内容を十分に検討されたい。
- ・ 近い危機的災害にそなえて必要ではあると思う。
- ・ 事業内容など素晴らしいと思います。頑張って下さい。
- ・ 単独でなく、今まである防災関連のことをしっかり学んだ上で新しいことを始めてほしい。
- ・ 市民とすると、年2回位しか訓練がないので必要性があると思う。
- ・ 危機管理課のノウハウを最大限活用して下さい。
- ・ 計画は優れている、今後の成果を期待する。
- ・ 体験の回数と借用代の見直し（広域行政組合の協力）
- ・ 事業規模のボリュームが多いと思われる割に構成団体が区などが多く、活動人員の確保が難しいのではと思われます。継続して活動できる団体作りが必要なのではないか。

委員：もっとより詳細に、具体的な内容で提出してほしい。

委員：危機管理課を通じ、広域行政組合と連携をすればもっとレンタル費用が抑えられる。全部無償でできると思う。

委員：場合によっては半額程度になる。もっと格安でできるので、調整は必要不可欠であると思う。

委員：保険もないので、支出の見直しをしてもらってはいかがか。

委員：何で3月に行うのか。毎年12月に行っている区の防災訓練と一緒にできないのか。

委員：参加費はとる設定なのか。泊まる際の経費は。東山荘のイベントの一環に近い。

委員：泊まり込みとなると、食事はどうするのか。

事務局：負担金については聞いていない。食事は実際に則し“炊き出し”形式と聞いている。

委員：東山荘には耐震化した新館ができる。東山荘と市は防災協定を結んでいるが、今まで動きがなかった。これを機に訓練を行いたいという意図ではないか。地元も混ざっているので、実際に則した訓練ができるのでは。

委員：この事業をモデルとしてほしい。

委員：訓練を通し地元にとって身近な存在になることで、受け入れ側・避難する側にとっても実際の有事の際に動きやすい。そこが団体の言う“楽しく”恐れるということなのでは。

委員：予算書に、炊き出しに係る経費が載っていない。また、3月の体育館等での雑魚寝は寒さもまだ厳しい。夜の部分に係る経費の練りこみが必要。また、大人を巻き込む際には、どのように人の募集を行うのか。

委員：構成団体に予定も含むとあるが、それはどの団体か。たまたまボラ協会長が東山区だが、知らないとの事。もっと周りに浸透させてほしい。

委員：普通に行おうとすると30万円以上の金額がかかり、市民協働事業としてもよい気がするが、費用の詳細が伝わってこない。報告会の時によく確認をする必要がある。

委員：趣旨はよい事業だが、東山荘の意向が強い。費用、活動内容をもう少しわかりやすくしてほしい。

委員：まとめると、内容はよいが、収支予算書にあいまいな点が残るということか。

委員：中学生の宿泊となると、計画の方ももっときっちり出してもらわないとマズいのでは。

委員：広域行政組合らと連携し、もっとしっかりした計画を立ててもらうか。

委員：明らかに30万円はかかるので、決定はできる。

委員：大人を募集するのも含めて、しっかりした計画を立ててほしい。

事務局：それでは、事業としては採択し、計画書・収支予算書を再提出するという条件付き承認という形でよろしいか。7月1日の協議会時に提出できる

ように調整したい。

☞ 防災都市御殿場づくり体験の日

補助金額：300,000円

補助の条件：協働相手である行政担当課をはじめとする関連部署と事業
内容の詳細並びに収支予算を再考すること。

④食育とキッズクッキング

【審査用紙コメント】

- ・事業費の収入・支出について大きな問題あり。
- ・現代において非常に重要な活動と認識しています。メンバーを増やして、活動の幅を広げてみませんか？参加費が有料なのが気になります。
- ・事業の趣旨は違うかも知れないが、各地で話題になっている「子ども食堂」(『孤食』解消)のような事業に発展してくれば…と思います。
- ・とても良い目的だがもっと拡大して欲しい(参加者・従事者をふやす)
- ・事業内容が素晴らしいと思います。頑張ってください。
- ・マナー向上、生活習慣病予防にもつながり、続けて下さい。
- ・より多くの子ども達に向けて講座を実施して下さい。
- ・事業の効果が不明、行政との協働が評価できる、子どもが内容を理解できるのか。
- ・情報発信の方法を検討。※調理マニュアルの作成(広報の利用)

委員：とてもいい事業だと思うが、補助金の申請額を増やしてもっと活動を広げてもらいたい。また、200円の負担金も収支予算書に入れるべきでは。目的がたくさんあるが、参加人数が少ない。親子クッキングに発展させるなど、もっと拡大してほしい。

委員：プレゼンの中で市民協働型まちづくりの補助金、参加費、子ども家庭センターの補助金で成り立っているとあったが、(子ども家庭センターからの補助金をもらっている場合)市民協働型まちづくりの補助金の対象事業にはならないのでは。

※同一事業で他の制度による補助を受けている場合は補助金対象事業としない。

事務局：補助金ではない。あくまで、一部負担を子ども家庭センターがしているという意味。団体も子ども家庭センターも補助金制度の趣旨を理解している。

委員：子ども家庭センターからどれぐらいの金額が出ているのか。この金額以上に出ているのか。

事務局：子ども家庭センターに連絡を取り、確認 伝達。

委員：20人以上となると、ふじざくらの調理室では難しいのかも。もっと団体が大きくなり、スタッフも増えれば。

委員：収支予算書には補助金分だけでなく事業全体の予算書とすべきでは。

事務局：その通り。記入例にも記載がある。本来は200円分や子ども家庭センター分の予算を載せて書くべきだが、200円はそのまま子ども家庭センターのお金となっており（市の一般会計に納入）、200円の支出を明記することが難しい。

委員：事業全体を把握したい。

委員：現物支給だと載せる必要はない。市の予算なら載せなくても…。申請書には“買い出し”と書いてあるが“提供”ではないのか。

委員：収支予算書に載せなくても別枠で明記してもらえれば。

☞ 食育とキッズクッキング 補助金額：75,000円

⑤我が家流子育てをつくろう！～家族のコミュニケーション力向上事業～

【審査用紙コメント】

- ・とても素晴らしい事業だと思います。
- ・事業が散漫な印象を受けました。有資格者や専門家、子育ての先輩が若い夫婦の御殿場での子育てを。
- ・大変素晴らしい事業と思います。
- ・事業内容等すばらしいです。
- ・子どもに関わることで悩んでいる方も多いので続けて下さい。
- ・事業効果のPRを工夫してより多くの市民へ周知させて下さい。
- ・活動の実績もあり、キメ細かい計画になっている。
- ・社会教育課とも連携し、市民全体へ活動内容を情報発信する。

委員：参加人数が意外と少ない。保健師がいなくても団体の専門性だけでできていることに驚いた。

委員：60点満点の人がいて驚いた。これまで1,000人ぐらいと接してきたそうなので話を聞いてみたい。シングルマザーなどの人もいるので、（参加者が）“夫婦”だけでは高尚な気がする。

委員：行政がやっていないから始めたのでは。

委員：プレゼンのスライドにあった愛情曲線で言えば、まだ離婚していない人をフォローするためにより充実するのでは。参加できる人が限られているのでHPにアップして見られる人も多くなれば、救われる人も増えるのでは。

委員：よってかつ祭の中でPRしては。若い人多そう。

委員：社会教育課で子育て教室の時に先生をお願いした。色々講座を開催してい

るが、出てこられない人を救うことが難しい。
委員：一人親対象の人が参加できる内容ができれば。
委員：HPやフェイスブックを使って積極的にアピールして欲しい。HPを使うと相乗効果がある。
委員：PRは子ども家庭センターにもお願いしたい。
委員：次の講座につながるので、講演会の人数を増やして欲しい。
委員：1,000円をもらうから人数を増やせないのかも。

☞ 我が家流子育てをつくろう！～家族のコミュニケーション力向上事業～
補助金額：300,000円
【意見】御殿場市の子育てをもっとアピールできるようにフェイスブックやホームページを活用して積極的に広報活動をして欲しい。

⑥「魅力ある東山路」づくりから始まる観光ハブ都市御殿場市

【審査用紙コメント】

- ・本旨である「看板」による効果は…。
- ・マップが見やすく魅力的です。地域のイメージアップと経済効果に結びついている成功例だと思います。
- ・プレゼンが素晴らしかったです。
- ・充実した地図、市内各地域でできると良いです。
- ・東山方面がにぎわっていますね。地域づくり市民生活の調和。
- ・MAPが活用されている上、看板設置と集大成が楽しみです。
- ・将来的に歴史についての紹介を希望したい。

委員：看板に着目したプレゼンが欲しかった。団体の活動紹介に聞こえた。
委員：看板の内容を掘り下げたプレゼンが欲しい。今日の説明になかった。
委員：商工観光課でマップを作成するので、マップばかり強調すると、誤解が生まれる。
委員：看板設置における許認可関係で、商工観光課から相談を受けた。
(都市整備課として)指導していきたい。
委員：看板やシールの具体的金額は。土地所有者については。
事務局：1台69,500円のアルミの立て看板を3台設置する。場所については聞いていない。
委員：申請書の40ページに“地域の防災活動に取り組む”と記載があるが、この事業との関連がよく分からない。

☞ 「魅力ある東山路」づくりから始まる観光ハブ都市御殿場市
補助金額：300,000円

⑦ 2016 秋の収穫祭！御殿場を食べつくそう！秋のグルメライド！

【審査用紙コメント】

- ・子どもが沢山参加出来る内容を確保。
- ・趣味のサークル活動という印象がぬぐえません。
- ・前例が無く困難な点もあると思うが、期待しています。
- ・新設の団体なので体制づくりをしっかりとお願いしたい。
- ・サイクリングをからめての事業は新規性がある。
- ・安全に努めて進めて下さい。
- ・新規のイベントですので念入りな調査・調整が必要と思われます。
- ・安全性について解決する問題が多い。
- ・参加人数の確保が課題。

委員：市のマラソンのように市内を広く使うイベントはなかった。定着すれば、起爆剤のような行事になるかもしれない。上手く行けば市民の見方も変わり、次につながると思う。

会長：市民マラソンのように市民側も盛り上がっていくのでは。

委員：“はじめの一步”の事業として十分では。まず、やってみて大きくできそうなら、また次回を目指せばいい。お金をかけているのが痛い。子どもは無料にしてみたら。スポーツや健康づくりなら問題はないと思うが、観光に無理やり関連づけている。

委員：原因はわからないが、今までスポーツイベントをやっていた団体は1年で終わっていて、継続性がなかった。市内40キロ～50キロを周るということで、団体はかなりの経験者だと思うが、十分に安全面に配慮して継続できるようにしてほしい。

委員：平成22年度に行ったバルーン・ミーティングは翌年から商工観光課で予算が付いた。平成21年度のバスケは周年事業で行ったものと記憶している。

委員：NPOは設立後すぐにつぶれる団体が多い。中長期的に考え、補助終了後を見据えた形でお願いしたい。

委員：しっかりした基盤を作してほしい。

委員：最初の団体なので、不安があるのはしょうがない。事故がないようにやってもらうだけ。市外へもPRしたいが、まずは足元から。2年目以降に市外へもPRしていき、御殿場の商工観光につなげることで団体の意向にも沿うのでは。今後の発展性に期待したい。

委員：安全面に十分に配慮し、なるべく長く続けられるよう意見を付し、満額決定でよろしいか。

一同：了承。

☞ 2016秋の収穫祭！御殿場を食べつくそう！秋のグルメライド！

補助金額：300,000円

【意見】安全面を十分考慮して開催して欲しい。

⑧富士山みくりやよってかつ祭

【審査用紙コメント】

- ・若者の新規事業を継続して頑張ってください。
- ・パフォーマンスは仲間内とその家族だけで盛り上がっているという印象がありますが、祭りは参加型が本来の姿かと思います。若い方々に期待します。
- ・より強い情報発信を願います。
- ・補助金交付のスケジュールを考えると7月3日開催は妥当か。
- ・若者の活性化・地域発展に良いと思う。
- ・御殿場の活性化に良いですね。
- ・他の市内のイベントにも参加を希望する。
- ・熱意を感じます。広い年齢層の方が参加できるイベントにしていただけたらと思います。質問し忘れてしまいましたが、駐車場の確保や車での来場者のケアはできているのか心配です。

委員：7月3日開催に意味はあるのか。補助金スケジュールとしては、補助金交付決定日以降の事業開始となっていないとおかしい。

事務局：そのあたりの説明はしている。昨夏、1回相談があり、今回は開催時期がずれたので市民協働事業に応募したいとの事だった。

委員：交付決定日を調整する等の対応をお願いしたい。

委員：似たようなイベントが多い中、趣旨自体は悪くない。

委員：若さが市の活性化につながると思う。委員ごとの点差が気になる。青年団、婦人会も抜ける人が多い中、自主的にやっており、今後起爆剤として発展していけば。

委員：市民協働事業で若い人を初めて見た。

委員：イベント自体はよいが、商工観光課のメリットが少ないのでは。交流人口の拡大をもっと入れてもらえれば、協働の視点としてはよい。

委員：若いパワーを感じた。問題もあるかもしれないが、期待したい。

委員：市長の名前がメンバーとして申請書類に表れているのはどうなのか。

委員：過去の事例の中では、議員が前面に出てプレゼンをしている事例があった。今回も市長のほか議員の名前も出ていたが、議員は一般席に座っており、審査に影響するものでなかった。

☞ 富士山みくりやよってかつ祭 補助金額：300,000円

【意見】交流人口の増加を意図するなど、より市側のメリット（＝公益性）にも力を入れてほしい。

*会終了時に会長より、採択された市民協働事業に委員の出席を徹底するため、各々誰が出席するか担当を決めた方がよいとの意見があり、年内の事業についてはその場で担当を決めた。

15：15 終了